

## 採択事業 NO.11

種 別：自由提案型

団体名：伊子志自治会

事業名：消防本部前交差点、植栽樹所の綺麗な花壇

交付決定額：95,000 円

### （事業を行おうとした動機）

当付近、宝塚消防本部前（県道と市役所前通りの交差点）において、数年前に道路と交差点の拡幅工事等が終わってから、当地点、歩道部の植栽樹は、そのうちに、低木の植栽が移植されると、思っていました。そのままの状態が長く、防草シートも破れ、雑草も生えてきて、見苦しくなっています。

消防署の前でもあり、低木の植栽でも成長具合によっては、伸び放題となって、緊急車の発進時、見通しが悪くなることや、予期できない歩行者（子供）横断時からの飛び出し注意が必要と、思います。

そこで、花植物なら、交通安全に影響なく、きれいな花壇場所として、花植物を年中育て、地域住民が、協力して、実施していこうとするものです。

当場所での見栄えが良くなることは、付近の景観の保全に繋がり、地域住民だけではなく、駅から市役所に向かう、市民や近隣市民にも癒し、憩いの場を提供して、市の顔である市役所前通り交差点付近の景観を美しくします。

また、植栽樹や花壇の管理を通して、地域の人（自治会以外の各団体、シニア大学生や環境保護団体）との交流をして、各団体の活動との相互利益の場となることも期待したいと思います。

植栽樹の準備後の植物管理方法は、従来から行っている、県と市の道路アドプトの新規場所として、花植物を、宝塚 NPO センター、各種団体との連携交流作業として、県の道路アドプト、市の道路アドプトとも、打合せしながら、市民交流はもちろん、連携作業して行きたいと思っています。

### （事業を行う目的と期待される効果）

伊子志自治会では、数年前から、兵庫県道路アドプト（末広小学校正門前）として、歩道の植栽樹を花壇にして、年2回花植物の植替を10名ほどで、実施しています。

また、宝塚市道路アドプト（市役所前通り）として、歩道の草刈り等をしています。

いずれも自治会を通して、参加者を募っていますが、日常管理に参加をされる方は、少数です。

公園アドプトでは、月2回程の定期的な集りで、10名位が集まります。花のお世話をする中で、会話がはずみ、交流の場となっています。また、手入れを行っている際には、通行人の方からも、お声がけ頂き、市民の方の会話や交流の手立てとなっています。

自分の家でない所の美化への日常的参加には、抵抗感がありますが、『みんなの花壇』とすれば、市民の方が参加しやすくなると思います。

今回の歩道植栽柵の場所は、見通しが非常に良いです。  
この場所で、花植物の植栽をしようとするれば、花植物が好きな方の参加が期待できると思います。また、交流の場、憩いの場、景観が美しい場所としたいです。

市役所と消防署の目の前、この場所以上で、成果が期待できる場所は、ないと思います。

#### （事業の内容）

県の宝塚土木事務所で砕石と土への入替をして頂けました階段から、当方の植栽柵内の整備に掛かります。

植栽柵内整備とは、当場所で、道路アドプトを永続的に開始する前段階の整備であります。

- ① 花壇の場所に丸太柵を設置して、
- ② 花壇の外側外周には、クラピア（芝生と同じ地這い植物）を移植する。  
※クラピアとは、現在、末広小学校正門前、歩道部（県道路アドプト）に植付け養生している。外周部に草が生えないようにする。
- ③ 植栽柵内に花壇の丸太柵を設置する。

参加予定人数は、4～5人が述べ4～5日間を見込んでいます。

以後の花壇内の花苗管理は、県と市の道路アドプト（末広小学校前で行っていることと同じく）として、メイン作業は、花苗植替え手入れとして、5月と11月の2回、1回当たり10人×2日×2回を行います。

また、日常的な花育成管理も、少人数（2～3人）で、除草・散水・施肥をしています。